



2014年8月29日

報道関係各位

inochi 未来プロジェクト実行委員会

関西・日本の医療のブランド化・国際化と、市民の健康意識啓発・生活習慣改善を目指して

## 「inochi 未来プロジェクト実行委員会」発足！

～9月20日（土）「2014 inochi 未来フォーラム」、  
9月21日（日）「2014 inochi フェスタ」で、キックオフ～

「関西を、医療のメッカに。」を合言葉に、オール関西の産学官民の垣根を越えて、いのちの未来や大切さを考え、行動する団体「inochi（いのち）未来プロジェクト実行委員会」が、8月29日（金）に発足いたしました。

本実行委員会は、「関西・日本の医療のブランド化・国際化」「市民の健康意識啓発・生活習慣改善」の2つを大きな柱として、2020年に未来医療健康都市・関西を目指す団体です。世界最先端の医療の集約、長く健康で幸せな暮らしを実現するモデルづくり、医療の次世代人材の育成などを、産学官を巻き込んで活性化したいと考えています。

本年5月1日に「国家戦略特別区域を定める法令」が公布され、関西圏においては大阪府・兵庫県および京都府を対象区域として「健康・医療分野における国際的イノベーション拠点の形成を通じ、再生医療を始めとする先端的な医薬品・医療機器等の研究開発・事業化を推進するとともに、チャレンジングな人材の集まるビジネス環境を整えた国際都市を形成する」という目標が定められました。

関西圏においては各大学や独立した研究機関が集積しているとともに、iPS細胞に代表される再生医療分野での臨床応用が進んでいるなど、医療分野におけるビジネスモデル確立、健康寿命の延伸にむけたポテンシャルがあると考えます。

今後、2つの目標を目指すべく「inochi（いのち）未来プロジェクト実行委員会」が市民を巻き込んで産官学を橋渡しする団体として、積極的な議論を活性化していきたいと考えております。

9月20日（土）にはナレッジキャピタル 4F ナレッジシアターで開催する「2014 inochi 未来フォーラム」、および、同21日（日）に中之島公園芝生広場で開催する「2014 inochi フェスタ」より、活動をスタートさせてまいります。

具体的な「inochi 未来プロジェクト実行委員会」が目指すゴールは以下の2つです。

### 医療者・行政・企業にとっての inochi（いのち）の未来

- ▽関西で世界最先端の医療が受けられる「医療ブランド」の確立
- ▽人々が健康で幸せな暮らしを送ることができる「健康長寿都市」の確立
- ▽医療における「次世代人材の育成」による国際的な貢献

### 市民・患者の方にとっての inochi（いのち）の未来

- ▽市民の健康に対する意識を高め、自発的な生活習慣の改善を促す
- ▽市民の救命や応急手当に対する知識を深め、救命率と、救命後のQOLの向上をめざす
- ▽医療者と市民の積極的なコミュニケーションを通じて、医療者と患者・市民の強い信頼関係を築く

なお、大阪で結成された人気ガールズバンド SCANDAL が、このプロジェクトの意義に賛同し「inochi 未来プロジェクト」の公式テーマソングを歌うことが決定し、音楽プロデューサー小室哲哉さんと楽曲を共同制作しています。9月21日（日）のスペシャルライブでは、その楽曲を初披露します。



inochi

■ inochi 未来プロジェクト実行委員

実行委員長 澤 芳樹 (大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科教授)



1980年大阪大学医学部卒業。1989年フンボルト財団奨学生としてドイツ・マックス・プランク研究所に留学。その後2006年より大阪大学心臓血管外科教授・未来医療センター(現未来医療開発部)センター長、2010年より大阪府医師会副会長・大阪大学臨床医工学融合研究教育センターセンター長などを歴任、2013年より大阪大学大学院医学系研究科副研究科長・国際医療センターセンター長。

実行委員 上本 伸二 (京都大学大学院医学研究科研究科外科学講座(肝胆膵・移植外科分野)教授)



1981年京都大学医学部卒業。1993年イギリス(ハマースミス病院)留学。2001年三重大学医学部外科学第1講座教授、2006年京都大学医学研究科外科学講座(肝胆膵・移植外科分野)教授。2011年より京都大学医学部附属病院副院長(教育・研究・地域連携)・京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター長・京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター長。

実行委員 鈴木 寛 (大阪大学大学院医学系研究科招聘教授)



1986年東京大学法学部卒業後、通産省に入省。99年の退官後は慶應義塾大学環境情報学部助教授に就任。2001年、東京都選出の参議院議員として初当選、2期に渡る任期中に文部科学副大臣に就任。副大臣時代に内閣官房に医療イノベーション室を創設。さらに超党派による医療危機打開議連幹事長、東京オリンピック・パラリンピック招致議連事務局長、日本ユネスコ委員などを歴任。現在、日本初の国立・私立大学教授同時就任として東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策メディア研究科兼総合政策学部教授を務める傍ら、日本サッカー協会理事、現場からの医療イノベーション改革推進協議会事務総長に就任。『熟議のススメ』等、著書も多数出版。

実行委員 高橋 政代 (理化学研究所発生・再生科学総合研究センタープロジェクトリーダー)



1986年、京都大学医学部を卒業。1992年、京都大学大学院医学研究科博士課程(視覚病態学)卒業。京都大学医学部助手を経て1995年にソーク研究所研究員となり、網膜治療に幹細胞使用の可能性を見出す。2001年、京都大学附属病院探索医療センター開発部助教授に就任。2006年、理化学研究所発生・再生科学総合研究センター網膜再生医療研究チーム チームリーダーとなり、現在、網膜再生医療研究開発プロジェクトのプロジェクトリーダー。専門は網膜変性疾患・黄斑部疾患と再生医療研究で、目標は基礎と臨床の研究を積み重ね、両者を踏まえた網膜再生研究をすること。

実行委員 原 丈人 (DEFTA PARTNERS グループ会長、内閣府本府参与兼経済財政諮問会議専門調査会会長代理、アライアンス・フォーラム財団代表理事、公益財団法人 原財団 評議会議長、原鉄道模型博物館副館長)



1952年(昭和27)大阪生まれ。慶大在学時から27歳まで中米考古学研究。渡米しスタンフォード大学院在学中シリコンバレー初の光ファイバー事業に成功。(81年工学修士)。84年デフタ・パートナーズを創業し、米英イスラエルの革新的な技術を持つベンチャー企業への出資と経営を行う。世界第二位ソフトのボーランド、インテルと合併したOPLUS、サイバーセキュリティー大手フォーティネットなどを会長、社外取締役としてゼロから立ち上げた。05年からアジア、アフリカで情報インフラ整備、栄養改善事業に取り組む。国連政府間機関特命全權大使、財務省参与など日欧米の公職歴任。『増補 21世紀の国富論』(平凡社)著。



## ■賛同アーティストおよび団体のご紹介

### SCANDAL



2006年大阪で結成。2008年「DOLL」でデビュー。翌年には「少女S」でレコード大賞新人賞受賞。2012年3月には日本武道館公演を異例の速さで成功させ、翌2013年3月3日には兼ねてからの目標であった大阪城ホールでの公演を達成するなどライブでの実績も重ねていく。近年ではSCANDALの影響で楽器を始める女子も増えており、2013年12月開催した第4回SCANDALコピーバンドコンテストには国内外全国から550を超えるエントリーが集まり、10代女子を中心に絶大な人気を誇っていることを証明。2014年6月にはプリンセスプリンセス以来、実に23

年ぶりとなる横浜アリーナ2days公演を成功させ、名実ともに日本を代表するガールズバンド。

### 一般社団法人アスリートネットワーク

思いを共有するトップアスリートが自主的につながり、自らの成長の過程で得た「本物の感動」を、次世代を担う子どもたちに伝え、人として「生きる力」を育てていく社会的ムーブメントを興すため、自発的に構成されたネットワーク。トップアスリートが有する3つのG(自)、つまり「自信、自律、自立」をキーワードに、「トップアスリート自身が直接的に関与し、企画、運営する」という方針を共有している。

©「inochi 未来プロジェクト」公式ホームページ : [inochi-expo.com](http://inochi-expo.com)

### ■本件に関するお問い合わせ先

inochi 未来プロジェクト実行委員会 PR 事務局 (ALEGRESOL 内)

担当：堀西 080-1403-1100 horinishi@alegresol.jp

川土居 090-2230-9868 kawadoi@alegresol.jp